

放課後等ディサービス山形コロニー シード【自己評価表】

放課後等ディサービス山形コロニー シードでは、事業所が提供するサービスの質について、評価・点検を実施しました。より良いサービス提供を目指すとともに、自己評価を公表することで、地域のみなさまに安心して利用していただくことを目的としています。なお、この自己評価表は厚生労働省が定める「放課後等ディサービスガイドライン」をもとに作成した「保護者向けアンケート」の回答結果、及び自事業所の自己チェックとなる「事業所向けアンケート」の意見等を踏まえ、「自己評価」としてまとめたものです。

「○」：おおむね良好といえる 「▲」：より良くしていきたい 「×」：改善が必要

チェック項目		保護者向けアンケートによるご意見等	自己評価	改善目標・工夫している点など
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか	—	▲	コロナ予防を考えると手狭に感じることがあります。可能な限り、活動場所や席の配置の工夫を行っています。
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	—	▲	それぞれの職員の持つ専門性をさらに支援に活かしていくように努めています。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	・まだ何度も奥まで入っていないのでそういう視点で見ていなかったがたぶん大丈夫だとは思う。	○	手すり、スロープ、段差フリー、エレベーター、車いすで使用できるトイレなど車いすの利用者でも一緒に作業できるように配慮しています。
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	—	○	日々のミーティングで、意見交換や振り返りを行っています。毎日のミーティングの他に会議や日頃の業務において、話し合い、改善に努めています。
	⑤ 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	—	○	保護者アンケートをもとに、改善につなげています。情報発信も積極的に行っていきたいと思います。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	—	○	ホームページにて公開しています。
	⑦ 第三者による外部評価を行い、調査結果を業務改善につなげているか	—	○	現在実施しておりませんが、法人全体で個人情報保護の強化に取り組んでいく予定です。
	⑧ 職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか	—	○	法人内の研修や、外部の研修にも積極的に参加しています。様々な研修に参加した後は内部で研修報告を行い、チームで学んでいます。
	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で放課後等ディサービス計画を作成しているか	—	○	活動の中で見えてきたことと利用児童や保護者と共有しながら、社会で求められることと照らし合わせ、計画を作成しています。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	—	○	多角的な視点からアセスメントするための共通のツールを使用しています。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	—	○	ミーティングを必ず行い、チームの合意の下で立案している常に話し合いを行っています。傾向と対策を確認し、連携を図っています。
適切な支援の提供	⑫ 活動プログラムが固定化されないよう工夫しているか	—	○	・色々な作業を経験してもらえるよう工夫しています。ニーズに応じて臨機応変に個別のプログラムを作成しています。希望する職種が明確になってきた時期には目的を持った固定化した作業に取り組んでいく場合もあります。
	⑬ 平日、休日・長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	—	○	平日で基礎を身につけ、休日・長期休業日で平日学んだことを生かしたり、普段できない活動（職場体験・見学）を計画しています。
	⑭ 活動プログラムは個々の計画に応じた工夫がされているか	—	○	個別支援計画をもとに、本人や保護者のニーズ等に合わせた支援ができるよう努めています。個々の特性を生かし伸ばせるプログラムになるよう計画しています。
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	—	○	事前に立てている、日ごとの支援予定をもとに、利用者名、役割分担について朝のミーティングで確認・打ち合わせをしています。
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	—	○	・夕方のミーティングでその日のケースや様子、振り返りを行っています。話し合いの内容はミーティング記録にも残しています。
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	—	○	5W1Hを基本に活動の中で気付いた点や、支援中の特記部分をケース記録に入力し、次の支援につなげています。
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等ディサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	—	○	6ヶ月以内に実施し、見直しを行っています。
	⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	—	○	ガイドラインに沿った支援を心がけています。現状と照らし合わせながらより望ましいサービス提供ができるよう努めています。

		チェック項目	保護者向けアンケートによるご意見等	自己評価	改善目標・工夫している点など
関係機関や保護者との連携	㉐	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	—	○	基本的に児童発達支援管理責任者が参加しています。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	—	○	学校や保護者の皆様の協力を得ながら、情報共有と連絡調整を行っています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	—	—	医療的ケアを必要とする方が現在は利用されていませんが、利用される場合は体制は整えたいと思います。
	㉓	子どもが他の放課後等ティーサービスを利用している場合、放課後等ティーサービス間で情報共有と相互理解に努めているか	—	○	一部行っておりますが、担当の相談支援専門員を通じて状況を伺うこともあります。さらに連携していきたいと考えています。
	㉔	学校を卒業し、放課後等ティーサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	—	○	・特別支援学校主催のケア会議に参加したり、担当の相談支援専門員を通して行っています。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	—	○	専門的な支援技術の向上のため、研修への参加や専門職派遣事業への申し込みなどを行っています。
	㉖	地域の方々との交流や、地域の中で活動する機会があるか	・コロナ対策等で仕方ないと思います。 ・コロナ禍の為活動する機会は今は少ないのではと思います。	▲	コロナ禍のため地域交流会等は実施できていませんが、地域のスーパー等で買い物をする機会は多く持つことができています。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	—	○	参集がなかったため、協議会からのアンケート調査の際に回答するなど、参集以外の方法での参加させていただきました。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解をもっているか	—	○	送迎にいらっしゃった時や連絡帳を活用し、活動の様子をお伝えしています。これからも保護者との共有と連携を大切にしてまいります。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	—	▲	ペアレントトレーニングの研修を受け、支援力向上を図る予定です。
保護者への説明責任等	㉚	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	・家でも話をしてくれる。	○	支援の内容は日ごとの連絡帳やお迎えの際に、利用者負担については契約の際や、その都度（欠席時対応加算など）加算がかかる際にお伝えしております。
	㉛	保護者に対して面談や、子育て・進路等に関する助言等の支援が行われているか	—	▲	面談やお迎え時、または連絡帳などで必要に応じて対応させていただけております。
	㉜	児童・保護者が一緒に活動できる機会の提供により、活動している利用者同士の交流の機会や、保護者同士の関係づくり等が提供されているか	・コロナ禍で、交流の機会を作るのは大変ですが、その中で工夫して、よく頑張っておられると思います。 ・コロナ対策等で仕方ないと思います。 ・コロナ禍により、難しく思っています。再開できる日をお待ちしています。 ・機会がない。 ・事業見学親子で行かせていただきありがとうございました。 ・コロナで減っているとは思いますが、夏休み等見学など交流機会はあったので。	▲	コロナ禍のため、機会が少ないと感じております。バスの乗り方教室・事業所見学・卒業生の話を聞く会など、感染状況を見ながら、また、感染予防策を講じながら保護者の方も参加できる土曜開所を企画しました。コロナが開けたら保護者同士の交流の機会も企画したいと思います。
	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があつた場合に迅速かつ適切に対応しているか	・機会がない。	○	苦情解決体制を整備の上、委員会を設置しています。直接言いつらい場合の申立先についてもご案内しています。
	㉞	定期的に会報を発行し、活動内容や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	—	○	シートにより（不定期発行）と行事ごとのホームページのブログで情報の発信を行っています。
	㉟	個人情報に十分注意しているか	—	○	更に皆様に安心してご利用いただくために、協会全体でプライバシーマークの取得を目指しています。氏名や写真の掲載に関しては、事前にご記入いただいたご意向をもとに取り扱わせていただいております。
	㉟	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	—	○	保護者の方にもお話を伺いながら、その方に合わせたわかりやすい方法を工夫したり、個別のツールを使い支援しています。
	㉟	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか	—	▲	コロナ禍のため、地域の方を行事にお招きする機会はありませんでした。個別の見学受け入れを行いました。

チェック項目		保護者向けアンケートによるご意見等	自己評価	改善目標・工夫している点など
非常時等の対応	③⁸ 緊急時の対応や防犯、感染症などの対応についての手引きを策定し、保護者に周知・説明しているか	—	▲	コロナウイルスへの対応に関することがほとんどでした。職員間での確認はもちろん、シードよりやおたより等でコロナウイルスについてのお知らせを行っております。 防犯について、対策の強化を図りたいと考えております。
	③⁹ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	・参加していないだけで、参加希望のお知らせはあったので。	○	年2回（1週間×2回）避難訓練を利用者と一緒に行っています。また、今年度は非常災害時の対処に関する土曜開所も実施しました。
	④⁰ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	—	○	毎夕のミーティングで虐待リスクの確認を行っています。協会全体では年1回の虐待防止研修と虐待防止のための対策を検討する委員会を設置し、各事業所から出されたグレーゾーンや虐待リスクについて話し合いを行っています。
	④¹ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	—	○	今現在そのようなケースはありませんが、命・安全を守るために必要な場合は、身体拘束以外の代替え案の検討や児童、保護者との十分な話し合いを行います。
	④² 食物アレルギーのある子どもについて、医師指示書に基づく対応がされているか	—	○	保護者の方へアレルギーの確認を行い、おやつや給食の際に役立てています。
	④³ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	—	○	夕方のミーティングでその日のヒヤリハットを確認、共有しています。
満足度	④⁴ 子どもは通所を楽しみにしているか	—	○	お一人おひとりが必要性ややりがいを持って活動できることを目指して、活動の提供をしたいと思います。
	④⁵ 事業所の支援に満足しているか	・いつもありがとうございます。 ・いつも話を聞いて下さったり相談にのって下さりありがとうございます。	○	引き続き、皆様のご期待に応えられるよう、質の高いサービス提供を目指してまいります。

職員の配置状況（令和4年2月1日現在）
施設長：1名、児童発達支援管理責任者：1名、保育士1名、児童指導員：7名（心理指導担当職員1名、パート従業員1名含む）

職員の資格 等（令和4年2月1日現在）複数所持有
社会福祉士：3名、精神保健福祉士：2名、介護福祉士：2名、保育士：2名、 高等学校教諭一種：1名、中学校教諭一種：1名、 訪問型職場適応援助者：1名、強度行動障かい支援者養成研修修了者：8名、SST社会生活技能訓練研修修了者：3名